

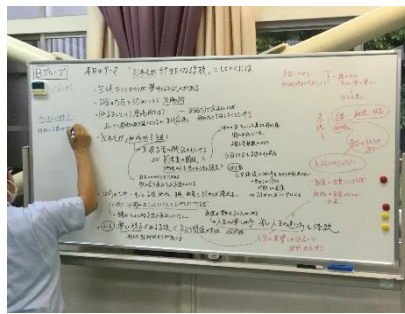


学校再開後の学校訪問の取組から

6月の学校再開後、各学校では年間指導計画等の見直しを図り、新型コロナウイルス感染症拡大防止にも最大限の注意を払いながら教育活動を進めてきたことと思います。各学校そして先生方による安心・安全な学校づくりの取組に、改めて敬意を表します。

さて、今回は、7月14日（火）に訪問した七ヶ宿町立七ヶ宿中学校の「いじめ・不登校を生まない学級・学校づくり又は学校課題に係る話し合い」について紹介いたします。七ヶ宿中学校では、話し合いのテーマを「保護者・地域と連携した行きたくなる学校づくり」とし、地域の方々にも参加していただき、研修を行うスタイルを取り入れました。七ヶ宿町では、コミュニティ・スクールを核としたネットワークを構築し、学校づくり・つながりづくり・地域づくりを一体的に行っています。話し合いでは、地域の立場からも積極的に「行きたくなる学校づくり」について意見を述べてもらい、先生方とも活発に意見交換をされていました。生徒の健全育成のために良好な関係を築き、学校と地域が協働して教育活動を進めていることが分かる取組でした。

全体会「保護者・地域と連携した行きたくなる学校づくり」の話し合い



- ◆ 2グループに分かれての話し合いの様子です。それぞれのグループに3名ずつ地域の方や保護者が入り、学校と地域それぞれの立場から意見交換を行いました。「こんな学校にしたいですね。」「子供たちのためには、こんなことが大切だと思います。」ホワイトボードには、七ヶ宿中学校の魅力を生かした、行きたくなる学校づくりについてのアイデアがたくさん書き込まれ、話し合いの最後には、2グループの意見を互いに共有し、今後の取組について確認することができました。

<今後の学校訪問について>

今年度の学校訪問につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う学校事情に配慮し、市町教育委員会及び学校の希望に応じて柔軟に対応することもできますので、必要に応じて事務所までご相談ください。



児童生徒の心のケアについて

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う長期休業，そして学校再開後の「学校の新しい生活様式」の中での学校生活，夏季休業明けの児童生徒の学習や生活の様子はいかがでしょうか。各学校においては，学級担任や養護教諭等を中心にきめ細かな健康観察等から児童生徒の心身の状況を把握するとともに，必要に応じて児童生徒の様々な悩みやストレス等に関して適切に対応いただいていることと思います。今後もこれまで同様，児童生徒の心身の状況把握や心のケア等について，SC・SSWや関係機関等との連携も図りながら組織的に対応していただきますようお願いいたします。

当事務所カウンセラーから各学校及び先生方へ，今後の対応に当たって参考にさせていただきたい点を以下に紹介します。



◆事務所カウンセラーから先生方へのアドバイス◆

- 現在の状況は震災の状況と似ています。現在は大きな問題がなくても，今まで我慢している状態が今後何らかの形（不登校，問題行動等）で噴き出してくる可能性は十分にあります。それも自然の流れであることを予想しておくことが必要です。
- 児童生徒の生活をできる限り元の状況に戻してあげること，日常を取り戻してあげてを大事にしてほしいです。非常事態（通常とは違う状況）の中に長い時間身を置くことが精神的にストレスになることがあります。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応をしながら，できる範囲でいいので，今までと同じ環境に戻してあげてを試みてほしいと思います。
- 先生方が児童生徒よりも先に倒れることがないように勤務していただきたいです。先生方も今までの環境，仕事内容が違った状況で疲れを感じていることと思います。一人一人にはキャパシティがあることをお互いに理解した上で，協力し，分担し合っ児童生徒を支援していただきたいと思います。

7月29日（水）開催の管内スクールカウンセラー研修会において，当事務所カウンセラーが「新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した学校支援活動」について講話した際の資料の一部も併せて紹介いたします。

<対応の基本>

- ・誰にでも起きる反応であり，自然な感情であると伝える
- ・新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識と具体的対策についての伝達
- ・「日常」を取り戻していくことを大事にする
- ・安全な環境・・・自由な感情表現
- ・ストレスへの対処について学ぶ

<学校での集団生活で取り入れると良いこと>

- ・疑問や心配事が話し合える環境作り
- ・差異を受け入れる（反応は人それぞれであることを理解する）
- ・ストレスマネジメントやリラクゼーション
- ・防災教育
- ・差別や偏見について